

好生館だより

2011.7

第11号



平成23年度 研修医の方々

佐賀県立病院好生館

設立の理念

「好生の徳は民心にあまねし」
「学問なくして名医になるは
覚束なきことなり」

基本理念

「病む人、家族、そして県民の
こころに添った
最良の医療をめざします」

基本方針（目標）

1. 患者中心の信頼される医療
2. 良質で安全な高度医療
3. 救急医療の確保と地域連携の医療
4. 教育の重視と人材の育成
5. 経営努力による経営効率の改善

目次

• 設立理念、基本理念	1ページ
• 理事長・館長挨拶	2ページ
• 災害に対する好生館の取り組み	2ページ
• 診療科紹介：麻酔科、精神科	3ページ
• 看護部だより：外来、手術部	4ページ
• 健康講座：正しいマスクの着脱について	5ページ
• 好生館ニュース：「ホスピタル・ ローソンとレストラン」の設置	5ページ
• 豆知識：知って得するお薬の話	6ページ
• 知っていますか？検査の話 ピロリ菌検査	6ページ
• 新任医師の紹介	7ページ
• 外来医師一覧表	8ページ



地方独立行政法人

〒840-8571

佐賀県立病院好生館

佐賀市水ヶ江一丁目12番9号

T E L 0952-24-2171(代表)

F A X 0952-29-9390

<http://www.koseikan.jp/>

理事長挨拶



理事長
十時 忠秀

4月13日地方独立行政法人佐賀県立病院好生館に、JAグループ佐賀から「交通事故を無くしたい運動」の一環として、佐賀県では初めて、全国でもまだ20病院ほどしか所有していない「ドクターカー」専用車両をご寄贈いただきました。ドクターカーとは、必要な医療材料や医療器具を搭載し、医師、看護師が同乗して事故や災害の現場に向かい早期診断・治療にあたる救急車です。

心臓が止まるような重症な患者さん、交通事故などの外傷で救出に時間がかかるようなケース、多数の傷病者が同時に発生したようなケース、重症な喘息患者、重症な胸痛患者などには現場で診断して、一刻も早く治療を開始する事が大切になります。

ドクターヘリが飛べないような悪天候やドクターヘリが下りる場所が近くに無い場合は、今まで救急車による陸路の病院搬送しか手段が無く、治療開始までに時間がかかり、救命率の低下につながっていました。

今回ドクターカーが導入されれば、速やかな医師による診断・治療が開始されます。

早期の治療で患者の救命率があがるだけでなく後遺症の軽減、社会復帰率の向上が見込まれます。

今回寄贈されたドクターカーは佐賀大学医学部付属病院と佐賀広域消防局と連携を深めながら有効に使わせていただく予定です。

JAグループ佐賀に心からお礼を申し上げ県民の皆様にご報告いたします。

館長挨拶



館長
樋木 等

平素はお世話になっています。未曾有の規模の東日本巨大震災が発生し、加えて原発事故が危機で日本をあげて、そして世界の支援も得ながらの救済にあたっている状況です。今後は、長い救済支援活動が想定され、私たちもできる限りの物心にわたる支援を提供して参ります。被災地の震災からの復旧、復興を祈念いたします。

昨年度の好生館は診療報酬改定と経営形態変更(地方独立行政法人化)が重なり緊張した1年でした。その中で、念願の7：1看護体制、多くの認定専門看護師誕生、看護専門外来の開設と看護ケアの充実に繋がりました。また、いくつかの旧態依然とした制度を一新し、食堂・売店・救急外来受付の新設など患者さん、ご家族と職員の利便性やアメニティーが高まっています。

幸いに独法初年の昨年度は病院の運営状況は良好な結果を得ました。これからも安全で良質な医療提供をする事で経営効率を達成し、もって、県民に対して好生館の医療の透明性と説明責任に繋がるようにしたいと思います。

好生館職員も励みとしている新好生館病院の工事は順調に経過しています。病棟、外来モデルルームも一般の方にも開放(4月限定)して、御意見を伺いました。

最後に今年度は、新臨床研修医を21人(管理型1年8人、たすき掛け制度13人)むかえました。しっかりと教育して患者さんに愛される、信頼される医師養成を目指します。

今後とも皆様のご支援ご鞭撻を宜しくお願ひいたします。

災害に対する好生館の取り組み



救命センター
医長
小山 敬

3月11日に起きた東日本大震災に対する対応として、好生館は災害発生直後よりDMATの待機体制をとりました。翌12日未明、DMAT事務局からの要請に応えて救命急救センター長藤田医師以下のDMATチームを派遣、福岡空港より自衛隊機で仙台に移動して活動を行っています。

また、3月20日から1週間ずつの交代で、2クールの医療救護班を派遣しています。これは佐賀県のチームとして組織され、佐賀大学や肥前精神医療センターなどの医療スタッフとともに、仙台市東方の塩釜保健所管内において、医療救護班として主に避難所診療を担当しました。

私は3月20日からの1週間のチームでしたが、仙台湾に突き出した半島状の地形にあり、沿岸部が壊滅的な被害を受けた七ヶ浜町で活動しました。災害医療としての急性期はすでに過ぎつつある状況で、身体症状としては落ち着かれている方がほとんどでしたが、避難所のホコリなどの影響で上気道症状を訴えられる方が多く、また慢性疾患の投薬を切らしている方も目立ちました。

今回のような大災害においては、超急性期から慢性期に至るまで、災害に対して私たち医療機関が貢献できることはたくさんあります。好生館は基幹災害拠点病院として、今回の災害対応はもとより、今後も研修・訓練や機材の整備などを精力的に行っていく必要があるものと考えています。





【診療科紹介】

麻酔科

部長 永澤 一郎

もしあなたがいま大きな手術を受けてあられるとなります。そのとき片時もあなたのそばを離れずに、呼吸を数え、血圧や脈拍や尿の量を測り、点滴や薬剤の量を調節しながら、あなたのために絶えず頭を回転させ気を配っている者がいます。それは麻酔科の医師です。

● 麻酔科とはこんな診療科

「麻酔」とはなんでしょうか。眠ったままで痛みもなく手術を受けられるようにするもの・・・とお考えかもしれません、それはほんの一面向過ぎません。

手術には悪いところを取り除き不具合を治すという良い効果がある反面、計画的に加わる「外傷」でもあり、そのままで傷や、出血、そして痛みをはじめとするさまざまな体の反応があなたの身体と精神に負担をかけます。(これを手術侵襲といいます)。このような負担からあなたの体を守りつつ、あなたに必要な手術を安全かつ円滑に進行させること、それが「麻酔」です。単に眠らせたり痛みを感じなくしたりするだけではないのです。ところがこれは一様にはゆきません。さまざまな手術の種類(術式)があり、侵襲の程度も様々です。また同じ手術の間でもその進行段階によつ

て侵襲の強さが違います。そのうえ患者さんごとに身体の特徴や合併症、さらには薬の効きやすさなども異なります。このため患者さんお一人おひとりごとに「麻酔」の計画を立て、それを確実に行う必要があります。これは手術中のみならず、手術の前から手術の後にまで及びます。麻酔科とはこのような一連のことを専門におこなう診療科なのです。

● このような手術の麻酔を担当しています

局所麻酔と伝達麻酔で行なわれる手術以外は私たちが麻酔を担当します。好生館では消化器・一般外科、呼吸器外科、小児外科、整形外科、泌尿器科、産婦人科、心臓血管外科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、循環器科などの手術が行われていますが、その特徴として、佐賀大学とともに高度な手術に取り組んでいること、合併症があるため他院では行えない手術を引き受けていること、救命救急センターを併設しているため重症患者の緊急手術が多いこと、そして県下唯一の小児外科専門施設であり新生児手術を含む小児の手術が多いこと、などが挙げられます。私たちはこれらの麻酔依頼に対応しています。麻酔科が管理した手術は年々増加傾向にあり、H22年度は3200例近くとなりました。

● さいごに

私たちは患者さんに最良と思われる「麻酔」を、安全にそしてできるだけ快適に受けていただけるよう力を尽くします。患者さんやご家族が安心して手術や麻酔に臨んでいただけることを願ってあります。



【診療科紹介】

精神科

部長 原 富英

I 当科の方針

「患者さまの 患者さまによる 患者さまのための心の医療の実現に邁進します。」をモットーに、充分な説明を心掛け、インフォームドコンセント…説明と同意…に基づいた納得のいただける医療を提供したいと思います。

セカンドオピニオン(色々な問い合わせ)も歓迎します。

II 診療内容(対応疾患等)

対象は精神神経医学全般(うつ病、神経症、不眠症、心身症、器質性精神疾患等)ですが、以下の診療にも力を入れてあります。

- ・物忘れ(外来・認知症関係)
- ・カウンセリング、心理検査
- ・休職、復職支援(主にうつ)
- ・高次脳機能障害、発達障害

- ・メンタルヘルス(心の健康相談)
- ・セカンドオピニオン
- ・リエゾン・コンサルテーション
精神医学(病む人に生じやすい不安・不眠・不適応等への対応)

III 物忘れ外来のご案内

平成20年6月から物忘れ外来をはじめました。物忘れるがあるなーと気になっている方やそのご家族の方気軽に相談されてみませんか?

当科では、精神科の医師(日本老年精神医学専門医等)・臨床心理士・放射線科医師(画像診断など)が協力し総合的な相談(診断・治療・福祉等)にのります。

IV 外来日

- ・一般外来 毎週月~金 9:00~16:30
土・日・祝日・年末年始は休み
- ・物忘れ外来(要予約)
火・木午後 0952-28-1171(直通)

なお当科は、精神科入院病床がありませんので、入院が必要な場合は、連携している病院に責任をもって紹介いたします。

【看護部だより】

外来

看護師長 津山 聰子

外来は2階玄関の正面にある総合案内をはじめ、内科、外科などの診療科から採血センター、中央放射線部、内視鏡室、外来化学療法室までを含めた専門的な検査、診断から治療に対する看護を行っています。看護師はパートを含めて40名、受付事務は21名が勤務しています。

昨年度は、述べ157,500名、1日に約650名の患者さんが受診され、総合案内では、ボランティアの方々と共に患者さんを出迎えています。移動の援助はもちろん、初診、再診手続きの案内、「どの診療科に診せたらいいのか分からぬ」とお悩みの患者さんには、症状にあった診療科を選ぶためのアドバイスも行っています。

また、入院期間は平均12.6日と短くなっています。各診療科では、検査・入院についての

説明をわかりやすく工夫し、心配事にも医療ソーシャルワーカーとともに丁寧に対応しています。病棟スタッフとも連絡を密にとりながら、退院後の生活を考慮した生活指導や自己管理方法についての指導に力を入れています。

それに、眼科、皮膚科、耳鼻いんこう科、整形外科などでは、日帰りの手術も行われています。私たちは、安心して手術を受けていただけるように患者さんの傍で話を聴き、確認しながら患者さんの不安に対応しています。

外来では、患者さんと共に過ごす時間が長くはありませんが、コミュニケーションを大切にして、皆さんに親しんでいただける外来を目指しています。



【看護部だより】

手術部

看護師長 菖蒲 庸子

手術部は、病院3階の東側に位置します。平成22年度の手術件数は4354件で、入院患者さんの約半数の方が何らかの手術を受けられています。手術は患者さんにとって不安が大きいと思います。手術室での看護は病棟に比べて短時間ではありますが、個別性の看護を提供するためにも患者さんが看護師の顔を見ながら話をしていただくことで安心感を持って手術に望んでいただけるように、手術を受けられる患者さん全員に手術前日に訪問を行っています。

手術室は7室あり12診療科の手術を毎日診療科別に9時から順次行っています。手術部の目標は、患者さんやご家族が安心して安全で快適に手術を受けられるようにすることです。手術には診療科の医師、麻酔科医、看護師、医療機器操作員、放射線技師をはじめ多

職種の人が関わり協力し合って患者さんの手術に携わっています。患者さんが手術室に入室されてから手術を終え一刻も早く病棟にお戻りになられるように努めています。手術室内には患者さんの緊張を少しでも和らげるためにBGMを流しています。患者さんが手術をされている間ご家族の方もご心配でしょうが、PHSを持っていただき、院内であればどこにいらしても連絡が取れるようにしています。

看護師は、医療の進歩に伴う知識と高度な技術が必要です。全科の手術に対応できるように日々努力しています。





【健康講座】

正しいマスクの着脱について

感染管理認定看護師
富田 泉

飛沫感染を予防する正しいマスクの着脱法について紹介します。

咳やくしゃみにより細菌やウイルスが放出されそれを吸い込んで感染する病原微生物には、髄膜炎菌、百日咳、インフルエンザ、RSウイルスなどがあります。これらの病原微生物は、飛沫により約1m程度飛散し、1秒間に約80cm程度落下します。この病原微生物の飛沫感染を防ぐマスク着用の目的には、2つ理由があります。一つ目は、咳、くしゃみ症状のある人が周囲に病原体を拡散させない事。2つ目は、他人より飛沫を介して病原微生物に感染しない事です。

それでは、正しいマスクの着用方法のポイントを説明します。

<マスクの上下について>

- 人の鼻の高さには個人差がありますので必ずノーズワイヤー（針金）が入っている方を上にしてください。
- ノーズワイヤーを、鼻の形に合わせます。鼻をマスクで覆う事がポイントです。

・次にマスクのノーズワイヤーを押さえ、顎の下までマスクで覆います。顎の下までマスクで覆うことで鼻、口からの飛沫感染を伝播経路とする病原微生物の侵入を防ぎます。

<マスク裏表について>

- マスクの裏表の見分け方は、耳紐の付いてない方が裏面です。
- こちらを顔側に（肌に触れる側）に向けて装着してください。
- マスクのプリーツ（ひだ）が下側を向く方が外側、プリーツが上を向く方が内側（顔側）になります。



<正しいマスクの外し方>

- マスクの前面は、病原微生物で汚染されているため、汚染面に触れないように紐の部分を持って外します。
- 汚染したマスクの表面に触れないように廃棄するのがポイントです。
- マスクを外したあとは、手洗いや手指アルコール消毒を行うことも感染対策上有効です。



【好生館ニュース】

「ホスピタル・ローソン」とレストランの設置

契約・管理課長 西津 和也

佐賀県立病院好生館は平成22年4月1日付で地方独立行政法人の病院として新しく歩み出しました。経営の黒字化は中期目標・計画では必須でありますので、赤字から黒字化が1年目からは図られましたのは良好な結果となりました。

独法化初年度に実施したもので「見える化」の代表的な売店・食堂について、具体的に紹介させていただきます。

○売店について

- ①営業時間が（8：30～19：30）と短く医師が手術後の飲食や深夜勤務者が利用できない。
- ②売り場面積が狭隘のため、車椅子での買い物ができない。また弁当や商品の仕入数量が少ないため、売れ切れが多い状況でした。

○食堂について

営業時間が短い、暗い、メニューが少ないのでした。

以上の問題を解決するには、コンビニの導入が必要とされたが、現病院では2年半の短期間であり、設備投資の回収が困難であるため、新病院での営業を含んだ契約を公募により「レストラン・コンビニの運営事業者」の募集を行った結果は下記のとおりです。

◎売店（ホスピタル・ローソン）

- ①営業時間は年中無休で7：00～24：00 特徴的には一般ローソンに無い医療用製品も整備できることです。
- ②売り場面積は以前より2倍になりましたので、車椅子での買い物や品物の売り切れ等はなくなりました。

◎レストラン

- 営業時間は7：30～21：00、（土日は8：00～19：30）改修工事で全面床の張り替え等行い明るく、きれいなレストランが完成しています。
- 更に、売店の跡には、夜間・休日受付を設置し、時間外の医療費計算も行え、診察当日に清算できるようになりました。

新病院の開院は2年後ですが、少ない費用で現在の好生館の患者さん・家族の方々のためにできるだけ療養環境の向上に努めていきたいと思いまのでどうぞよろしくお願いいいたします。



【豆知識】

知って得するお薬の話

薬剤長 奥平 献

昔風邪をひいたから病院に行って注射をうつってもらい、薬疹が出たという経験がある方もおられると思います。新規に病院に入院しますとアレルギー、副作用などを聞かれます。風邪薬で薬疹がでたよといえばピリン疹ですねと言われます。ところが病院では平気でバイアスピリン（アスピリン）が処方されます。あれ！ピリンじゃないのと不思議に思われるでしょうが、アスピリンはピリン系ではないのです。さらに困ったことに一般用医薬品でピリン系といえばイソプロピルアンチピリンが含まれるお薬があります。これはアンチピリンといいながらピリン系なのです。鎮痛剤のセデスハイや、総合カゼ薬のプレコール持続性カプセルなどに入っています。昔ピリン疹が出た方は注意が必要です。

小児用バファリンの成分はアスピリンです。小児の解熱に使っていました。その当時小児用バファ

リンを適応のないあじいちゃん、おばあちゃんに投与していました。本当は今も投与しています。バファリン81mg錠に名前が変わっています。今は「血小板凝集抑制作用」簡単に言うと血液サラサラにする薬に変身しているのです。一般用医薬品のバファリンにはアスピリンは入っていません。かわりにアセトアミノフェンが入っています。血液サラサラにする作用はありません。病院で処方してもらうバファリンの代用にはなりませんので注意しましょう。

アスピリン等のサリチル酸系のお薬は15歳未満の水痘、インフルエンザの患者には原則投与してはいけないことになっています。やむを得ず投与する場合には慎重に投与し、投与後の患者さんの状態を十分に観察しなければなりません。昔、当院でもポンタールシロップやボルタレン坐薬も解熱鎮痛薬として小児に調剤していました。今はアセトアミノフェンがほとんどです。ちょっとややこしい話でしたが、このようにお薬は時代とともに淘汰され、役に立つお薬となるか、自然消滅するか、重大な副作用で突然消滅するか運命が別れます。良いお薬が適切に投与され、皆さんのお役に立てる事を心より願っています。



【知っていますか？

検査の話】

ピロリ菌検査

研究検査科

副技師長 山田 裕子

"除菌をしたよ…"と聞かれたことがありますか？

今回は、ピロリ菌検査の話です。

ピロリ菌は、強酸性下の胃粘膜に感染・生育する細菌（グラム陰性桿菌）で、正式名を「ヘリコバクター・ピロリ」といいます。

ピロリ菌の感染は、胃・十二指腸潰瘍や慢性胃炎、胃癌などの発症と関連があり、現在、日本人の半数はピロリ菌に感染しているといわれています。必ず発症するとは限りませんが、除菌治療によりその発症率は低下します。

ピロリ菌感染の有無を調べる検査には、内視鏡を用いる方法と用いない方法があります（表1）。

内視鏡を用いる方法は、上部消化管を直接観察して調べ、同時に胃粘膜を少し採取しそれを使って検査をします。

(表1) ピロリ菌検査

内視鏡を用いる検査	内視鏡を用いない検査
<ul style="list-style-type: none">迅速ウレアーゼ試験組織鏡検法培養法	<ul style="list-style-type: none">尿素呼気試験血中、尿中抗ピロリ抗体検査便中ピロリ抗原検査

次に、内視鏡を用いない検査は、呼気、血液、尿や便などを材料とします。その中で、尿素呼気試験は、検査薬を服用しその前後の呼気中の成分を測定する方法で、除菌判定にも使用します。



当院では、内視鏡（予約制）を使用する検査と使用しない検査のどちらも実施しております。迅速ウレアーゼ試験、尿素呼気試験および尿中抗ピロリ抗体検査は、受診当日に結果がわかります。人間ドック等健診でも検査を受けることができます。

陽性であっても保険診療を受けられない場合があります。当院では、ピロリ菌外来（自費）を開設しております。

症状のある方は、消化器内科へ、症状はないけれど気になられる方は、ピロリ菌外来を受診ください。

平成23年度採用医師一覧表

診療科目	氏名	顔写真	診療科目	氏名	顔写真	診療科目	氏名	顔写真
内科	消化器 医師 樋口 徹		小児科	磯村 直子 医師 磯村 直子		放射線科	原口智佳子 医員 Hiraku Hiraku	
	腎臓・透析 医師 大塚 伸			安部 泰弘 医員 Yasuharu Anpo		脳神経外科	萩原 直司 医長 Naoto Ogihara	
	光武 涼子 医員 Ryoko Hikaru			宮村 文弥 医員 Miyamura Fumiya		脳内神経科	伊藤 寛 医員 Kuni Ito	
	腫瘍 医員 永延奈津子			皮膚科 北 和代 医員 Kazue Kitahara		脳内神経科	岩崎めぐみ 医員 Megumi Iwazaki	
外科	消化器 医長 田中 雅之		泌尿器科	内野 洋志 医長 Naoto Ueda		循環器内科	塩見 哲也 医長 Tetsuya Shimanami	
	消化器 医長 橋口 和義			阿部 立郎 医師 Taro Abe		循環器内科	永元 康嗣 医長 Kozi Nagare	
	消化器 医員 奥山佳一郎			平田 侑 医員 Yuki Hirata		循環器内科	井上 晃太 医員 Kouta Iida	
	消化器 医員 北川 浩			竹内 直英 医長 Naoto Takeuchi		循環器内科	山崎 孝太 医員 Kouta Yamazaki	
儿科	小児科 医師 江角元史郎		整形外科	松下 昌史 医長 Masashi Matsushita		麻酔科	島川 勇介 医師 Yukiwa Shimakawa	
	小児科 医員 岡本 祐介			見明 豪 医員 Masaru Minami		麻酔科	大島 侑子 医員 Yuko Ohshima	
	産婦人科 医師 小野 剛史			口石倫太朗 医員 Taro Kishi		感染制御部	福岡 麻美 医長 Mami Fukuoka	
小児科	小児科 医長 今吉美代子		放射線科	野尻 淳一 医長 Junichi Nonose				(H23年6月15日現在)

外 来 医 師 一 覧 表

(平成23年7月1日現在)

区分		月	火	水	木	金
内 科	午 前	内科新患	担当医	権藤 久司 担当医	勝田 仁	担当医
		呼吸器 新患 再来	岩永健太郎 森塚 達也	森塚 達也 川浦 太	岩永健太郎 川浦 太	川浦 太 岩永健太郎
		肝臓・胆道 ・膵臓	藤本 優 大塚 大河	秋山 巧	川添 聖治 大塚 大河	藤本 優 秋山 巧
		消化器(胃・腸)	富永 直之	緒方 伸一	樋口 徹	緒方 伸一
		血液 新患 再来	近藤誠司/桑原伸夫 松石 英城	桑原 伸夫 桑原 伸夫	近藤 誠司 松石 英城	桑原伸夫/近藤誠司 桑原伸夫/近藤誠司
		腎臓・透析	大塚 伸	中村 恵	光武 涼子	権藤 久司 大塚 伸
		糖尿病内分泌	土居 隆志		土居 隆志 勝田 仁	土居 隆志
		腫瘍内科 (再診・院内コンサルト)	嬉野 紀夫	嬉野 紀夫	嬉野 紀夫	嬉野 紀夫
		感染症 (再診・院内コンサルト)	福岡 麻美	福岡 麻美	福岡 麻美	福岡 麻美
		消化管内視鏡	緒方、樋口	川添、藤本	緒方、富永(直)	秋山、富永(直)、樋口
		気管支鏡	岩永、川浦			岩永、森塚
		腹部エコー	川添、秋山	大塚(大)	藤本、秋山	藤本、大塚(大)
		透 析	中村	大塚(伸)	中村・大塚(伸)	中村 大塚(伸)
外 科	午 前	消化器 ・一般 新患 再来	田中 聰也 廣橋 喜美	手術	田中 雅之 佐藤 清治	救急患者のみ(当番医) 手術
		乳腺			浦田雅子/橋口和義	手術
		呼吸器 新患 再来			山田 典子	田中聰也/田中雅之 小池 健太
		小児外科	生野 猛/高橋由紀子	手術	江角元史郎	生野 猛/高橋由紀子
						手術
眼 科	午 前		担当医 (新患のみ)	手術	古賀 隆史 福永由起子 高橋 峰光	古賀 隆史 福永由起子 高橋 峰光
	午 後		検査		荒木 理子 担当医(新患のみ) 検査	古賀 隆史 福永由起子 高橋 峰光
産婦人科	午 前	婦人科	安永 牧生 荒木 保博 小野 剛史		手術	荒木 保博 小野 剛史
		産 科				手術
	午 後	予約外来/検査	予約外来/検査			予約外来/検査
小 児 科	午 前	市丸 智浩 熊本 崇	今吉美代子 宮村 文弥	市丸 智浩 熊本 崇	市丸 智浩 磯村 直子	今吉美代子 磯村 直子
	午 後	アレルギー外来 /予防接種	予防接種	乳児健診/ アレルギー外来	アレルギー外来 1ヶ月検診	予約外来
	午後(時間外)				その日の担当が診察します。	
耳 咽 喉 科	午 前		手 術	宮崎 純二 恒富 今日子 横川 恭子	手 術	宮崎 純二 恒富 今日子 横川 恭子
	午 後			回診・検査		回診・検査
皮膚科	午 前		武下 泰三 北 和代	武下 泰三 北 和代	手 術	武下 泰三 北 和代
	午 後	~16時 16時~	手 術	手 術		外来手術 予約外来(再診のみ)
泌尿器科	午 前		徳田 倫章 諸隈 太 内野 洋志 阿部 立郎	徳田 倫章 内野 洋志 阿部 立郎	手 術	徳田 倫章 諸隈 太 立郎
	午 後		検査/ESWL	検査・手術/ESWL		検査・手術/ESWL
整形外科	午 前		野口 康男 佛坂 俊輔 前 隆男 佐々木宏介 松下 昌史	竹内 直英 (新患)	手 術	野口 康男 前 佐々木宏介 竹内 直英 松下 昌史
	午 後		予約外来			予約外来
放射線科	消化管診断外来				梶原 哲郎	梶原 哲郎
	画像検査 部門外来		野尻 淳一 (眞武 邦茂) (梶原 寿浩)	川野 倫作 (野尻 淳一) (梶原 寿浩)	眞武 邦茂 (川野 倫作)	川野 倫作 (野尻 淳一)
	消化管造影		梶原 哲郎	梶原 哲郎		眞武 邦茂
	放射線治療		渡辺 哲雄 (徳丸直郎:午後)	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄
脳神経内科	午 前	高島 洋	高島 洋	小杉 雅史	小杉 雅史	高島 洋
	午 後	検査、処置	回 診	検 查	回 診	検査、処置
脳神経外科	午 前	坂田 修治	萩原 直司	坂田 修治	手 術	坂田 修治
	午 後	検査、処置	回 診	検 查		伊藤 寛 検査、処置
精 神 科	午 前	原 富英	原 富英	原 富英	原 富英	原 富英
	午 後	14:30~	心理検査 物忘れ外来(予約制)	心理検査	心理検査	心理検査 物忘れ外来(予約制)
循環器内科	午 前		貞松 研二 塙 見哲也	吉田 敬規 古閑 靖章	吉田 敬規 井上 晃太	心 力 テ
	不整脈外来		永元 康嗣		永元 康嗣	
	午 後		検 查	心力テ	心力テ (午前・午後)	検 查
	手 術				ベースメーカー手術	ベースメーカー手術
心臓血管外 科	午 前		手 術	内藤 光三 村山 順一	手 術 (午前中のみ) 紹介・予約:橋木等	内藤 光三 村山 順一
	午 後			回 診		回 診
緩和ケア科	午 前		小杉 寿文 濱田 献		小杉 寿文 濱田 献	
人間ドック	一 般		井之口香映子	井之口香映子	権藤 久司	井之口香映子
	脳ドック		高島 洋	坂田 修治		高島 洋
	心臓ドック					橋木 等/林田 潔